

User Guide

GL03D

取扱説明書



- 本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。
- 本書の内容に関して、一部でも無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お問い合わせ先にご連絡ください。

Windows®、Microsoft®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Mac、Macintoshは、米国Apple Inc.の商標または登録商標です。

Hayesは、米国Hayes Micro Computer Products.Inc.の商標または登録商標です。

AdobeおよびAdobe Readerは、米国Adobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。



、HUAWEI は、中国Huawei Technologies Co., Ltd.の商標または登録商標です。

その他、会社名、商品名および製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願いいたします。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

この度は、EMOBILE GL03D(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
不明な点がございましたらお問い合わせ先にご連絡ください。

## 動作環境(対応OS)

本製品の動作環境は下記のとおりです。

- OS:
  - Windows XP Home Edition Service Pack 3以降
  - Windows XP Professional Service Pack 3以降
  - Windows Vista Home Basic(32ビット/64ビット)
  - Windows Vista Home Premium(32ビット/64ビット)
  - Windows Vista Business(32ビット/64ビット)
  - Windows Vista Ultimate(32ビット/64ビット)
  - Windows 7 Starter(32ビット)
  - Windows 7 Home Premium(32ビット/64ビット)
  - Windows 7 Professional(32ビット/64ビット)
  - Windows 7 Ultimate(32ビット/64ビット)
  - Mac OS X 10.5
  - Mac OS X 10.6(32ビット/64ビット)
  - Mac OS X 10.7(32ビット/64ビット)
- メモリ:
  - Windows XP: 推奨512MB以上 256MB以上必要
  - Windows Vista: 推奨1GB以上 512MB以上必要
  - Windows 7: 1GB以上必要(32ビット) 2GB以上必要(64ビット)
  - Mac OS X: 推奨512MB以上 256MB以上必要
- ハードディスク: 推奨300MB以上 150MB以上の空き容量が必要

上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客さまご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

お願い パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各マニュアルをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。

## ご利用いただくにあたって

- 本製品はイー・モバイルの提供するサービスエリアおよび国際ローミングのサービスエリアにおいてご使用になれます。  
This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the International roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- EM chip (USIMカード) を取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。

ご使用の前に、必ず「安全上のご注意」をよくお読みになり、安全に正しくお取り扱いください。



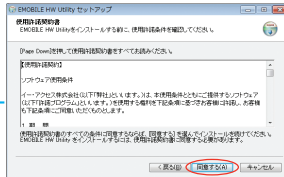
## 本書の使いかた

章番号

### 2 セットアップ (Windows/パソコンへ)

操作手順

7. 「使用許諾契約書」に同意する場合は、「同意する」をクリックします。

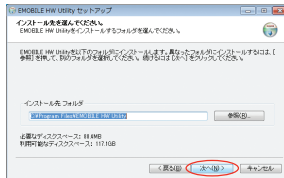


画面表示

8. 「次へ」をクリックします。

ページ数

22






- ・ 本項目の説明記載、およびページはサンプルです。本書の実際の記載とは、内容が異なります。




# 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

## 表示記号の説明

 危険	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## 図記号の説明










	してはいけないことを表しています。
	しなければならないことを表しています。
	気をつける必要があることを表しています。

具体的な内容は図記号とともに文章で示します。

## GL03D本体に関する注意事項







### 危険







	分解、改造をしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。なお本製品の改造は電波法違反になります。
	強い日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。 発熱、発火、変形、変色や故障の原因となります。 また本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
	濡れた手で触らないでください。 感電や故障の原因となります。
	浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。 液体がこぼれて濡れると、感電、発熱、故障の原因となります。
	水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 発熱、発火、破裂、故障、本人や他の人のけがの原因となります。
	本体に強い力を加えないでください。 発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。 爆発や火災の原因となります。



### 警告





	電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	すき間から異物を入れないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	煙が出ている、変な臭いをするなどの異常な状態の場合は、すぐに使用をやめて、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、お問い合わせ先(55ページ)にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。
	万が一、異物(金属片・水・液体)が製品の内部に入った場合は、パソコンから取り外し、お問い合わせ先(55ページ)にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

# 安全上のご注意

	落雷のおそれがあるときは、パソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってください。落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。
	長時間使用しない場合、本製品をパソコンから取り外してください。感電、火災、故障の原因となります。
	必ず専用の機器をご使用ください。指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	車両の運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。
	航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。
	高精度な電子機器の近くでは使用しないでください。電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。 ※影響を受けるおそれがある機器の例： ・心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。 ・心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

6

以下に記載する4項目は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」(電波環境協議会／平成9年4月)に準拠しています。

	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。
	満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切り、本製品の使用を控えてください。電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。
	医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。 ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。 ・病棟内では、パソコンの電源を切り、本製品を使用しないでください。 ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切り、本製品を使用しないでください。 ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
	自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。



## 注意

	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して、けがや故障の原因となります。
	自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。 安全走行を損なうおそれがあります。
	長時間の連続使用などで本製品が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
	故障の原因となりますので、ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。
	小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。
	クレジットカードなどを本製品に近づけないでください。クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。
	皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用を止め、医師の診断を受けてください。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。




本製品に使用されている材料や表面処理は以下に記載のとおりです。

	使用箇所	使用材料・表面処理
製品本体	本体	PC1414
	ねじ	スチールニッケルメッキ
	USBコネクタ	スチールニッケルメッキ
	ラベル	3M7815
USBケーブル	本体	PVC
	USB接続端子	銅メッキ、銅合金







# 安全上のご注意

## USBケーブルに関する注意事項






### 危険

	分解、改造しないでください。 火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
	火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。 機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。
	水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

### 警告

	コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。
	USB ケーブルは、対応機種以外にはご使用にならないでください。 対応機種以外のものを接続した場合、破損の原因となります。
	電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。 故障や火災の原因となります。
	強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。 故障や火災の原因となります。
	端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また、内部に入れてないようにしてください。 ショートによる火災や故障の原因となります。
	雷が鳴り出したら、USB ケーブルには触れないでください。 落雷の際、感電の原因となります。

### 注意

	コードの根元部分を無理に曲げないでください。
	小児が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているか注意してください。 けがなどの原因となります。
	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。 故障の原因となります。
	USB ケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。 コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

## EM chip (USIMカード)に関する注意事項



### 警告



EM chipを本製品へ取り付けや取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。また、取り付け、取り外しの際に過剰な力を加えますと故障の原因になりますので、ご注意ください。



### 注意



EM chipのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触は避けてください。



分解や改造はしないでください。データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



火のそばやストーブのそばなど高温の場所での使用および放置はしないでください。溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。



EM chipは当社が指定した機器にてご使用ください。指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



本製品を使用中、EM chip自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。



落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。



高温・低温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。故障の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器にEM chipを入れしないでください。溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。



水や飲料水、ペットの尿など高温の場所で濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。



小児や乳幼児が誤ってEM chipを飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chipは小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。



その他、本来の用途以外の方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

# 取扱上のご注意

本表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できない、もしくは機能停止を招く内容を示していますので、必ずお守りください。



## 注意 <GL03D本体に関する注意事項>

	水濡れさせないでください。 本製品は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判断した場合、保証の対象外となります。
	エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。 温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
	湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。 衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
	次のような極端な温度環境での使用は避けてください。 ・直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。 ・冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
	一般の携帯電話やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
	落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、強い力を加えないでください。故障の原因となります。 この場合、保証の対象外となります。
	ズボンやスカートの後ろポケットなどに本製品を入れたまま、椅子などに座らないでください。またかばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
	使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。
	汚れたり水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。 アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
	使用中に本製品が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。そのままお使いください。ただし長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
	本製品とUSBケーブルまたはパソコンを取り付けるときは、正しい方向に無理なく取り付けてください。 逆方向に取り付けたり、違和感がある状態で取り付けると、破損や故障の原因となります。
	本製品とUSBケーブルまたはパソコンを接続している場合、パソコンの電池残量が不足していないことを確認して使用してください。 電池が不足していると動作が不安定になります。充電するなどして使用してください。
	クレジットカードなどを本製品に近づけないでください。 クレジットカードなどの磁気カードのデータが消失するおそれがあります。
	EM chipは当社指定のものを使用してください。 指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。





EM chipの金属端子部分は汚さないでください。故障の原因となります。汚れたときは柔らかい布などで拭き取ってください。



お客さまご自身で本製品に登録された内容は、バックアップを取るなどして保存してください。万が一、登録された内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



### 注意 <USB端子に関する注意事項>



USBコネクタなどにゴミやホコリ、金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。故障や記録内容の消失の原因となります。端子はときどき乾いた綿棒で清掃してください。



ケーブルは強く引っ張らないでください。指定された以外の方法でケーブルを取り付けたり、取り外したりしないでください。



### 注意 <ストラップに関する注意事項>



ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のストラップを取り付けることができます。ストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。  
なお、ストラップを取り付けた状態でストラップを持って振り回したり、ストラップを強く引っ張ったりするなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

## お願い

当社では動作環境を満たすメーカー出荷状態のパソコンに対して、正常に動作することを確認しています。しかし周辺機器の増設やインストールされているアプリケーションの固有の設定などの影響により、本製品が正常に動作しない可能性があります。お客さまの環境で必ず正常動作することを保証するものではありません。

## 免責事項について

- 火災および地震などの災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(記録内容の変化・消失、通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

# 目次

はじめに	1
動作環境(対応OS)	1
ご利用いただくにあたって	2
本書の使いかた	3
安全上のご注意	4
取扱上のご注意	10
目次	12
1 ご利用になる前に	13
梱包品を確認してください	14
各部の名称と機能	15
EM chip (USIMカード)を準備してください	16
2 セットアップ(Windows/パソコンへ)	18
Windows/パソコンに本製品を取り付ける	19
Windows/パソコンへのインストール	20
Windows/パソコンから本製品を取り外す	25
ユーティリティをアンインストール(削除)する場合	27
3 セットアップ(Macへ)	29
Macに本製品を取り付ける	30
Macへのインストール	31
Macから本製品を取り外す	34
ユーティリティをアンインストール(削除)する場合	35
4 ユーティリティ操作ガイド	36
EMOBILE HW ユーティリティの概要	37
接続先(プロファイル)設定	39
インターネットに接続/切断する	41
ユーティリティ設定	43
ネットワーク設定	44
関連設定および情報確認	45
取扱説明書を参照する	47
5 故障と思われる前に	48
6 付録	53
主な仕様	54
保証とアフターサービス	55

# 1 ご利用になる前に

梱包品を確認してください .....	14
各部の名称と機能 .....	15
本体の名称と機能 .....	15
LEDステータスランプ表示の見かた .....	16
EM chip (USIMカード) を準備してください .....	16
EM chipの取り付けかた .....	17
EM chipの取り外しかた .....	17

# 1 ご利用になる前に

## 梱包品を確認してください

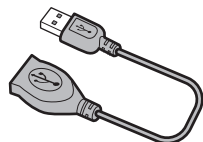
お買い上げいただいた商品には次のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足している場合には、お問い合わせ先にご連絡ください。

### ● 本体

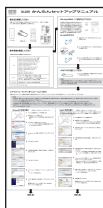


GL03D本体

### ● 付属品



USBケーブル  
(PGD03LDZ10)



かんたんセットアップ  
マニュアル(別冊)



保証書(1部)

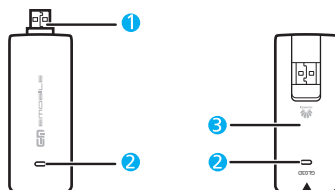


ご利用いただくにあたって(1部)

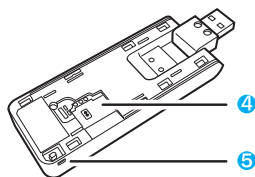
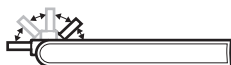
お願い 保証書を含め付属品は大切に保管してください。

## 各部の名称と機能

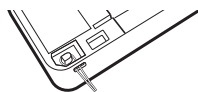
### 本体の名称と機能



- ① USBコネクタ: パソコンのUSBポートに接続します。  
USBコネクタは、下図のように起こしたり倒したりできます。



- ② LEDステータスランプ: 本製品の状態を示します。  
③ カバー: EM chipを保護するためのカバーです。  
カバーには、カバーを取り外すときにスライドさせる方向を示す三角 (△) が表示されています。  
④ EM chipスロット: EM chipを取り付ける箇所です。  
⑤ ストラップ穴: ストラップを取り付ける箇所です。  
カバーを取り外してストラップ穴にストラップを通します。フックにストラップのひもを引っ掛けて少し引き、外れないことを確認してからカバーを取り付けます。  
ただし、本製品にはストラップは付属しません。



# 1 ご利用になる前に

## LEDステータスランプ表示の見かた

本製品では、通信状態、異常状態などの情報をLEDの点灯によってお知らせします。

LED色および1秒間における変化	通信状態/異常状態
赤点滅(等間隔で点滅)	・ 本製品が起動中です ・ EM chipが未挿入です ・ EM chipが完全ロック状態です ・ EM chipが正常に読み取れません
赤点滅(短く点灯、長く消灯)	・ ネットワークを検索中です ・ ネットワークに登録中です
赤点灯	圏外
橙点滅(等間隔で点滅)	・ PINコード入力待ち ・ PUKコード入力待ち
青点滅(短く点灯、長く消灯)	待機状態(通信中、発信中以外の状態で、かつ圏内)
青点滅(等間隔で点滅)	ダイヤルアップ中
青点灯	ダイヤルアップ成功、安定した通信状態です

16

## EM chip (USIMカード)を準備してください

本製品をご利用になるお客さまに貸与されているICカードのことをEM chip(エムチップ)といい、お客さまの電話番号などの情報が記録されています。本製品を使用するにはEM chipを本製品に取り付ける必要があります。EM chipを取り付けていない本製品をパソコンに接続しても、データ通信は一切できません。EM chip台紙に記載されている取扱説明も参照してください。

IC部分  
(表面)



(裏面)



### 注意

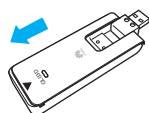
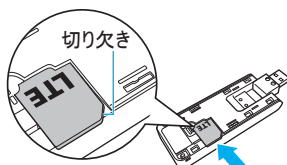
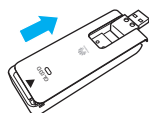
- ・ 本製品をパソコンに接続する前に、必ずEM chipを取り付けてください。接続したままでEM chipを取り付けたり取り外したりすると、本製品が正常に動作しません。

万一、EM chipを取り外してしまった場合には、次の操作を行ってください。

1. ユーティリティを閉じます。
2. 本製品をパソコンから取り外します。
3. 本製品のカバーを取り外します。
4. EM chipを挿入します。
5. カバーを本製品に取り付けます。
6. 本製品をパソコンに再接続します。

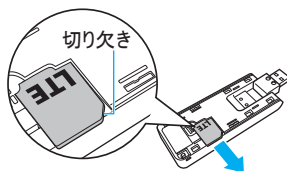
## EM chipの取り付けかた

1. 本製品のカバーを、矢印の方向にスライドしてから取り外します。
2. EM chipのIC部分を下にして、矢印の方向にEM chipを挿入します。
3. EM chipが奥まで挿入されていることを確認してから、カバーを矢印の方向にスライドして取り付けます。



## EM chipの取り外しかた

1. 本製品のカバーを、USBコネクタの方向にスライドしてから取り外します。
2. EM chipを矢印の方向に取り外します。
3. カバーをUSBコネクタの反対方向にスライドして取り付けます。



**注意** ・ 取り外したEM chipは紛失しないよう、ご注意ください。

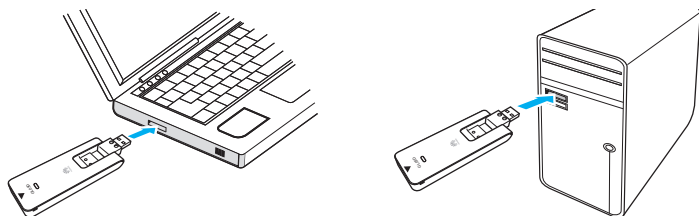
## 2 セットアップ (Windows/パソコンへ)

Windowsパソコンに本製品を取り付ける .....	19
Windowsパソコンへのインストール .....	20
インストーラーが自動的に起動しない場合 .....	24
Windowsパソコンから本製品を取り外す .....	25
ユーティリティをアンインストール (削除) する場合 .....	27



## Windowsパソコンに本製品を取り付ける

EM chipを取り付けている本製品をパソコンのUSBポートに接続します。パソコンがデータ通信カード（本製品）を認識します（パソコンが本製品を認識するまで45秒程度かかります）。



Windowsの場合では、システムからメッセージが表示されたら、本製品の接続完了となります。ユーティリティのインストールについては本書の20ページの「Windowsパソコンへのインストール」をご参照ください。

### 注意

- ・ 本製品をパソコンに取り付けた状態でスリープ（サスペンド/レジューム）、または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スリープ（サスペンド/レジューム）、または休止（ハイバネーション）を行ってください。また、本製品を取り付けた状態で、再起動や電源を入れると正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

### 説明

- ・ 本製品のUSBコネクタは、起こしたり倒したりできます。
- ・ パソコンとの接続時は、本製品のUSBコネクタを矢印の方向に起こします。



※ 本製品を持ち運ぶときは、パソコンから取り外し、USBコネクタを倒してください。パソコンに接続したままやUSBコネクタを起こしたままを持ち運ぶと、USBコネクタなどに誤って衝撃がかかり、故障の原因となります。

## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

### Windowsパソコンへのインストール

画面表示、手順はWindows 7を例としています。

- 注意**
- ・ インストール中に、本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。
  - ・ 管理者権限 (Administrator) でログインしてください。管理者権限の確認方法は本書の51ページを参照してください。

1. パソコンの電源を入れ、OSを起動します。
2. 本製品をパソコンに接続します。

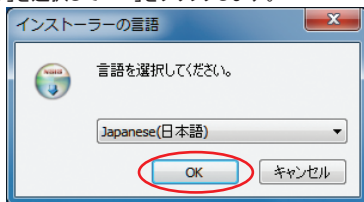
- 説明**
- ・ 本製品にはユーティリティインストーラー、デバイスドライバが保存されており、初めてお使いの場合、最初にUSB大容量記憶デバイスがインストールされ (本製品をパソコンに接続後45秒程度かかります)、その後ユーティリティインストーラーが起動し、本製品のデバイスドライバとユーティリティソフトが自動的にインストールされます。
  - ・ 本製品以外または本体に内蔵されているより古いバージョンのEMOBILE HWユーティリティが既にインストールされている場合には、新しいバージョンをインストールするかどうかのメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、古いバージョンをアンインストールしてからインストールを開始します。

3. 「AutoRun.exeの実行」をクリックします。



- ・ Windows XPをお使いの場合は自動再生の画面は表示されません。手順5に進みます。

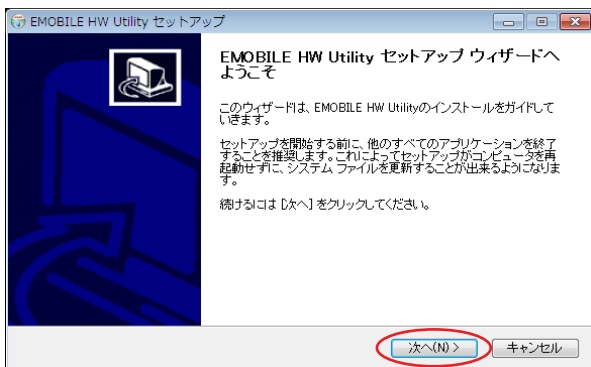
- 「ユーザーアカウント制御」の注意画面が表示されたら、「はい」をクリックします。
  - Windows Vistaの場合は、「続行」をクリックしてください。
- 「Japanese (日本語)」を選択して「OK」をクリックします。



説明

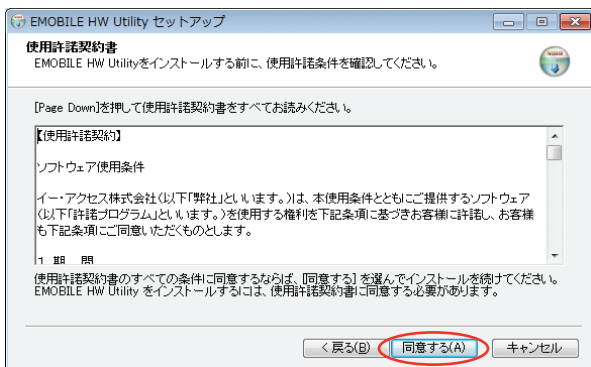
- 本製品の通信性能を最大限に活用するための通信設定の最適化を行っています。
- インストーラーが自動的に起動しない場合は、本書の24ページを参照してください。

- 「次へ」をクリックします。

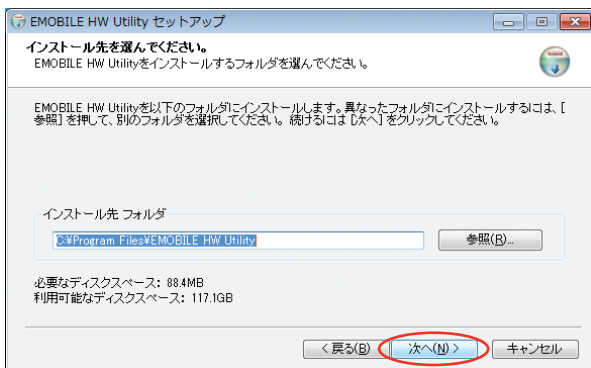


## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

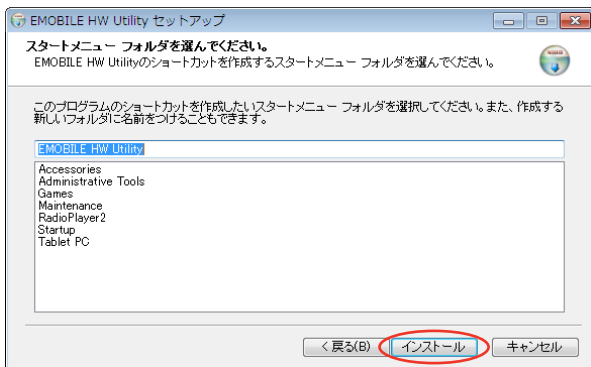
7. 「使用許諾契約書」に同意する場合は、「同意する」をクリックします。



8. 「次へ」をクリックします。

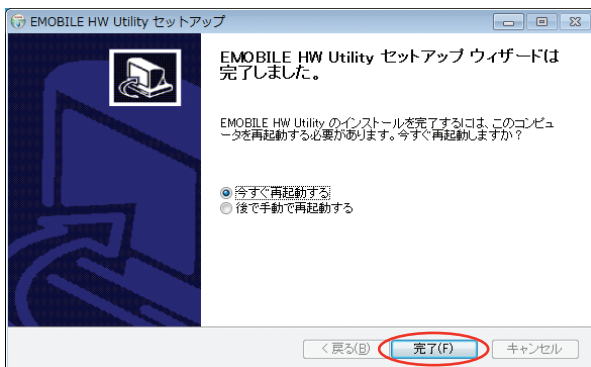


9. スタートメニューを設定し、「インストール」をクリックします。



インストールが始まります。

10. 「今すぐ再起動する」を選択し、「完了」をクリックします。



再起動するとインストールが完了します。EMOBILE HWユーティリティが起動します。

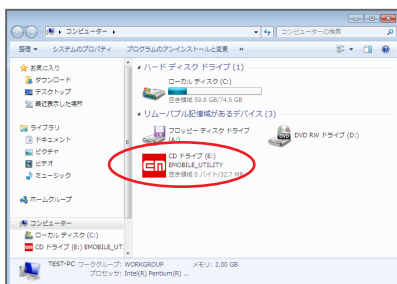
**注意** パソコンを再起動しないとインストールが完了しません。必ず再起動してください。

## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

### インストーラーが自動的に起動しない場合

ご利用中のパソコンの環境によってはインストールが自動的に開始されないことがあります。その場合は、下記の手順にてインストールしてください。画面表示や手順はWindows 7を例としています。※まず、Windowsパソコンの電源を入れ、本製品を接続した状態にしてください。

1. 「スタート」メニューから「コンピューター」をクリックします。
  - ・ Windows Vistaをお使いの場合は「コンピューター」をクリックします。
  - ・ Windows XPをお使いの場合は「マイコンピューター」をクリックします。
2. 「EMOBILE\_UTILITY」をダブルクリックします。



3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」をクリックします。
  - ・ Windows Vistaをお使いの場合は「続行」をクリックします。
  - ・ Windows XPをお使いの場合は「ユーザーアカウント制御」の画面は表示されません。
4. 「インストーラーの言語」の画面が表示されます。以降の手順は、21ページの手順5からを参照してください。

## Windowsパソコンから本製品を取り外す

本製品をWindowsパソコンから取り外すときは、次の方法で行ってください。無理に取り外すと、故障の原因となります。



**注意** 本製品を取り外す前に、ユーティリティを終了させてください。データ通信中は本製品を取り外さないでください。

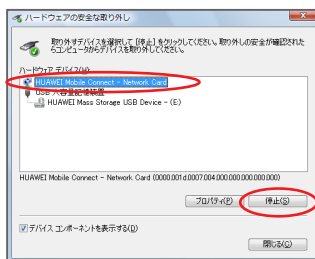
### Windows 7の場合

データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外してください。

### Windows Vista/Windows XPの場合

「ハードウェアの安全な取り外し」機能でデバイスの動作を停止させてから、本製品をパソコンから取り外します。

1. タスクトレイの  をダブルクリックします。
  - ・ Windows XPをお使いの場合は、タスクトレイの  をダブルクリックしてください。
2. 「HUAWEI Mobile Connect - Network Card」を選択して、「停止」をクリックします。



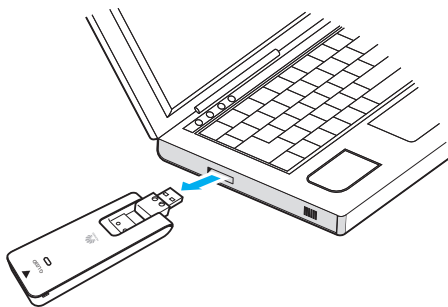
## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

3. 「OK」をクリックし、ポップアップ画面またはタスクトレイに、安全に取り外し可能なことが表示されることを確認します。



「ハードウェアの安全な取り外し」の画面に戻ります。

4. 「USB大容量記憶装置」についても手順2～3の操作を行います。
  - ・ Windows XPをお使いの場合は、「USB大容量記憶装置デバイス」と表示されます。
5. 安全に取り外し可能なことが表示されることを確認してから、本製品を取り外します。



**注意** ・ 本製品の特性上、「ハードウェアデバイスの停止」を実行しても本体のLEDが点滅することがありますが、そのまま取り外して問題ありません。



## ユーティリティをアンインストール(削除)する場合

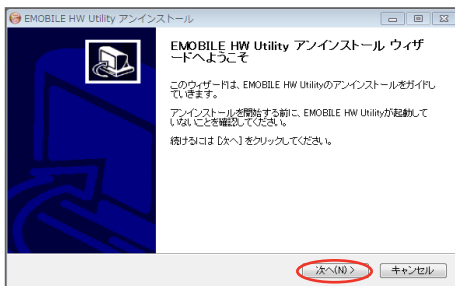
インストールしたパソコンで「EMOBILE HWユーティリティ」を利用しなくなった場合には、パソコンからユーティリティをアンインストール(削除)します。

### 注意

- ・ 本操作は、Windowsパソコンから、ユーティリティをアンインストール(削除)する操作です。アンインストール(削除)すると本製品が利用できなくなります。
- ・ アンインストール(削除)してしまった場合、再度ご利用になるには、もう一度インストールする必要があります。

画面表示や手順はWindows 7を例としています。

1. 「スタート」>「すべてのプログラム」>「EMOBILE HW Utility」>「Uninstall」の順で選択します。
2. 「ユーザーアカウント制御」の注意画面が表示されたら、「はい」をクリックします。
  - ・ Windows Vistaの場合は、「続行」をクリックします。
3. 「次へ」をクリックします。



4. 「アンインストール」をクリックして実行します。



## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

5. 「完了」をクリックすると、アンインストールが完了します。



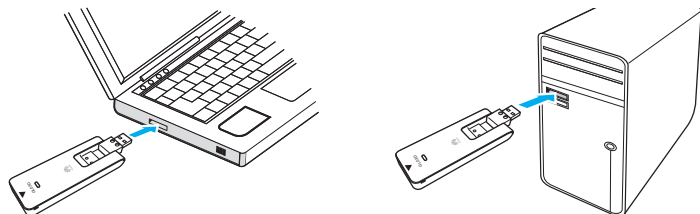
## 3 セットアップ (Macへ)

Macに本製品を取り付ける .....	30
Macへのインストール .....	31
インストーラーが自動的に起動しない場合 .....	33
Macから本製品を取り外す .....	34
ユーティリティをアンインストール (削除) する場合 .....	35

### 3 セットアップ (Macへ)

#### Macに本製品を取り付ける

EM chipを取り付けている本製品をパソコンのUSBポートに接続します。パソコンがデータ通信カード (本製品) を認識します (パソコンが本製品を認識するまで45秒程度かかります)。



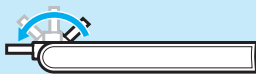
本製品とMacとの接続が完了すると「EMOBILE\_UTILITY」フォルダが自動的に表示されます。ユーティリティのインストールについては次の「Macへのセットアップ」をご参照ください。

#### 注意

- ・ 本製品をパソコンに取り付けた状態でスリープを行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スリープを行ってください。また、本製品を取り付けた状態で、再起動や電源を入れると正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

#### 説明

- ・ 本製品のUSBコネクタは、起こしたり倒したりできます。
- ・ パソコンとの接続時は、本製品のUSBコネクタを矢印の方向に起こします。



※ 本製品を持ち運ぶときは、パソコンから取り外し、USBコネクタを倒してください。パソコンに接続したままやUSBコネクタを起こしたままを持ち運ぶと、USBコネクタなどに誤って衝撃がかかり、故障の原因となります。

# Macへのインストール

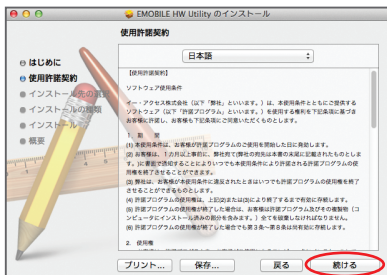
画面表示、手順はMac OS X 10.7を例としています。

- 注意**
- ・ インストール中に、本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。
  - ・ 管理者権限 (Administrator) でログインしてください。管理者権限の確認方法は本書の51ページを参照してください。
  - ・ 本製品以外の「EMOBILE HWユーティリティ」が既にインストールされている場合には、該当する製品の取扱説明書を参照してアンインストールを実施してから、本製品のユーティリティをインストールしてください。

1. パソコンの電源を入れ、OSを起動します。
2. 本製品をパソコンに接続します。  
デスクトップにEMOBILE\_UTILITYアイコン表示後、「EMOBILE\_UTILITY」フォルダが自動的に開きます。
3. 「EMOBILE HW ユーティリティ」をダブルクリックします。
4. 「続ける」をクリックします。

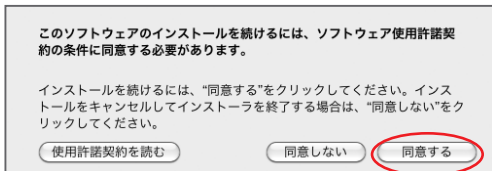


5. 「続ける」をクリックします。



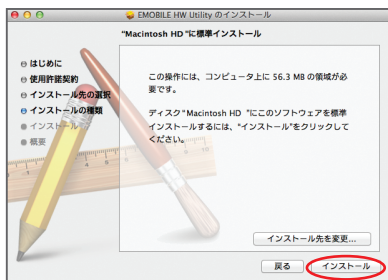
### 3 セットアップ (Macへ)

6. 「使用許諾契約」に同意する場合は、「同意する」をクリックします。



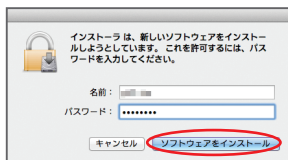
「インストール先の選択」の画面が表示された場合は、インストール先を選択して、「続ける」をクリックします。

7. 「Macintosh HD」に標準インストール」の画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。



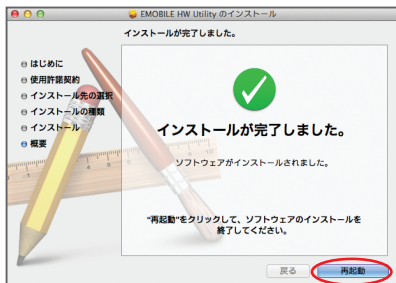
- ・「Macintosh HD」はハードディスクの名称です。ご使用の環境によって表示される名称は異なります。

8. お使いのMacの名前(ユーザ名)とパスワードを入力して、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



インストールが始まります。

9. 「再起動」をクリックします。




再起動するとインストールが完了します。EMOBILE HWユーティリティが起動します。

### インストーラーが自動的に起動しない場合

ご利用中のMacの環境によっては「EMOBILE UTILITY」フォルダが自動的に開かないことがあります。その場合は、下記の手順にてインストールしてください。

※まず、Macの電源を入れ、本製品を接続した状態にしてください。



1.  をクリックして、Finderの画面を表示させます。
2. 「デバイス」>「EMOBILE UTILITY」をクリックします。
3. 「EMOBILE HWユーティリティ」をダブルクリックします。  
以降の手順は、31ページ手順4からを参照してください。

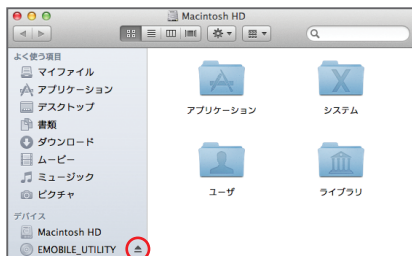
### 3 セットアップ (Macへ)

#### Macから本製品を取り外す

本製品をパソコンに接続した場合の取り外しは、次の方法で行ってください。無理に取り外すと、故障の原因となります。

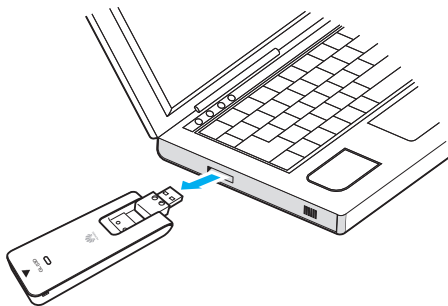
**注意** 本製品を取り外す前に、ユーティリティを終了させてください。データ通信中は本製品を取り外さないでください。

1.  をクリックして、Finderの画面を表示させます。
2. 「EMOBILE UTILITY」の取り出しアイコン(  )をクリックします。



・ デスクトップの「EMOBILE UTILITY」アイコンをゴミ箱へドラッグしても取り出せません。

3. パソコンから本製品を取り外します。



**注意** Finderの画面で上記アイコンが表示されない場合は、ユーティリティを終了していることを確認してから、本製品をパソコンから取り外してください。



## ユーティリティをアンインストール(削除)する場合

インストールしたMacで「EMOBILE HWユーティリティ」を利用しなくなった場合には、Macからユーティリティをアンインストール(削除)します。

### 注意

- ・ 本操作は、Macから、ユーティリティをアンインストール(削除)する操作です。アンインストール(削除)すると本製品が利用できなくなります。
- ・ アンインストール(削除)してしまった場合、再度ご利用になるには、もう一度インストールする必要があります。

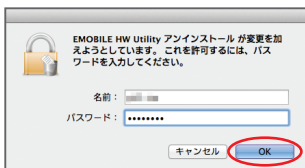
1. アプリケーションの画面を表示させます。
2. 「EMOBILE HW Utility アンインストール」をダブルクリックします。



3. 「OK」をクリックします。



4. 「パスワード入力」の画面が表示されますので、お使いのMacの名前(ユーザ名)とパスワードを入力して、「OK」をクリックします。



5. 「OK」をクリックします。



以上で、アンインストール完了です。

## 4 ユーティリティ操作ガイド

EMOBILE HW ユーティリティの概要 .....	37
EMOBILE HW ユーティリティの起動 .....	37
EMOBILE HW ユーティリティのメイン画面 .....	38
電波状態アイコンの説明 .....	38
接続先（プロファイル）設定 .....	39
プロファイルを新規作成する .....	40
プロファイルを編集する .....	40
プロファイルを削除する .....	40
インターネットに接続／切断する .....	41
接続の履歴を確認する .....	42
ユーティリティ設定 .....	43
ネットワーク設定 .....	44
関連設定および情報確認 .....	45
言語の選択 .....	45
PIN関連操作 .....	45
デバイス情報を確認する .....	47
電話番号を確認する .....	47
取扱説明書を参照する .....	47

## EMOBILE HW ユーティリティの概要

インターネットへの接続・切断を行う際に利用するソフトウェアを「EMOBILE HWユーザーティリティ」といいます。EMOBILE HWユーザーティリティ(以下、ユーザーティリティ)を使用して、ネットワークへの接続や各種設定を行います。

**説明** ユーティリティを操作するには、本製品をパソコンに接続し、デバイスやネットワークを認識してからご利用ください。本製品をパソコンに接続しなくてもユーザーティリティは起動できますが、デバイスやネットワークを認識していないため、本書の説明と表示が異なる場合があります。

### EMOBILE HW ユーティリティの起動

お買い上げ時の状態では、パソコンのOSを起動するとユーザーティリティが自動起動します。

- OS起動時にユーザーティリティを自動起動させないように設定することもできます(43ページ)。

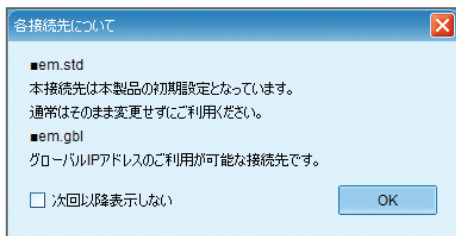
自動起動以外にユーザーティリティを起動させるには、本製品をUSBポートに接続します。または、ユーザーティリティショートカットアイコン(Windows/パソコンはデスクトップ上、MacはDockに表示)をダブルクリックします。

ここでは、画面表示や手順はWindows 7での操作を例にします。

#### ● 各接続先について

ユーザーティリティ起動時は「各接続先について」が表示されます。内容を確認の上「OK」をクリックします。次回以降、本画面を表示させない場合は、「次回以降表示しない」にチェックを入れてください。

- メイン画面(Macの場合はユーザーティリティのメニューバー)より、「ツール」>「オプション」>「ユーザーティリティ設定」からも設定の変更が可能です。本書の43ページを参照してください。



## 4 ユーティリティ操作ガイド

### EMOBILE HW ユーティリティのメイン画面



- 1 EMOBILE HW ユーティリティメニュー  
「ツール」と「ヘルプ」があります。「ツール」からは、プルダウンリストより詳細設定を行えます。「ヘルプ」からは、取扱説明書やバージョン情報を参照できます。
- 2 接続タブ  
メイン画面を表示します。
- 3 通信履歴タブ  
通信履歴情報を表示します。
- 4 設定ボタン  
各種設定を行うオプション画面を表示します。
- 5 状態表示  
電波状態、接続中のモバイルネットワークの種類(3G/LTE)、ネットワークの名称を表示します。
- 6 接続先  
接続先(プロファイル)を設定、変更します。
- 7 接続/切断ボタン  
インターネットへの接続/切断を行います。
- 8 接続時間  
接続時間を表示します。  
接続中にパソコンの設定時刻を変更すると、接続時間が正しく表示されない場合があります。
- 9 送受信データ量  
ダイヤルアップ接続中の送受信データ量の合計を表示します。

**説明** Macでは、EMOBILE HWユーティリティメニューはメニューバーに表示されます。「ツール」または「ヘルプ」の操作はWindowsと同じです。メニューバーに「EMOBILE HW Utility」の文字が出ない場合は、ユーティリティのメイン画面を一度クリックしてください。

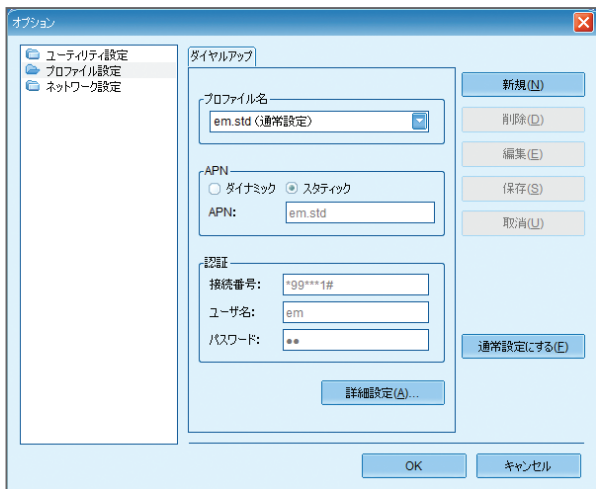
### 電波状態アイコンの説明

アイコン	状態
	電波状態: 圏外
	電波状態: 微弱
	電波状態: 弱
	電波状態: 中
	電波状態: 強

## 接続先(プロファイル)設定

パケット通信を行うためには、ダイヤルアッププロファイルが設定されていることが必要です。プロファイルを表示するには、以下の2通りの手順があります。

- メイン画面の接続タブで「設定」ボタンをクリックします。
- メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメニューバー) より、「ツール」 > 「オプション」をクリックして、ナビゲーションツリー中の「プロファイル設定」をクリックします。



EMOBILE HWユーティリティには、あらかじめ2つのプロファイル（接続先）が登録されています。

em.std	本接続先はユーティリティの初期設定となっています。通常はそのまま変更せずにご利用ください。
em.gbl	グローバルIPアドレスのご利用が可能な接続先です。

※ これらのプロファイルは削除・編集できません。

**注意** いつも利用する接続先は、プロファイル名を選択して「通常設定にする」をクリックします。メイン画面でも接続先を変更できますが、その場合はユーティリティが再起動すると元の接続先に戻ります。

## 4 ユーティリティ操作ガイド

### プロフィールを新規作成する

1. 右上の「新規」ボタンをクリックします。



2. プロファイル名、APN、ユーザ名とパスワードを設定します（ご使用のサービスプロバイダより正確な値を入手してください。また、接続番号は「\*99\*\*\*1#」を使用し、変更しないでください）。

**説明** Windowsでは、必要に応じて「詳細設定」をクリックして、IP設定、認証プロトコル設定、DNS設定とWINS設定に関する情報を設定することができます。「OK」をクリックし、詳細設定を保存するとダイヤルアップ設定画面に戻ります。Macでは、そのままの画面で認証プロトコル設定を設定できます。

3. 「保存」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。

### プロフィールを編集する

1. 「プロフィール名」のプルダウンリストから、プロフィールを選択します。
2. 「編集」をクリックし、設定情報を変更します。
3. 「保存」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。

### プロフィールを削除する

1. 「プロフィール名」のプルダウンリストから、プロフィールを選択します。
2. 「削除」をクリックし、「Yes」をクリックします。
3. 「OK」をクリックします。

## インターネットに接続／切断する

1. 接続タブをクリックすると、接続の画面が表示されます。
2. 「接続」ボタンをクリックすると接続を開始します。



- ・ダイヤルアップ接続中に接続時間、送受信データ量などの情報を見ることができます。

### インターネット接続を切断する

1. 「切断」ボタンをクリックします。



2. 今回の利用状況(送受信データ量、接続時間の目安)を確認し、「OK」をクリックします。

## 4 ユーティリティ操作ガイド

### 接続の履歴を確認する

**注意** 接続中にパソコンの設定時刻を変更すると、接続時間が正しく表示されない場合があります。

#### ● 通信履歴

通信履歴タブをクリックすると、通信履歴が表示されます。

接続先	開始日時	終了日時	接続時間	送信データ量	受信データ量
em.std	2012/01/20 10:57...	2012/01/20 11:03...	00:06:37	14.98 KB	1.73 KB
em.gbl	2012/01/20 14:35...	2012/01/20 14:35...	00:00:12	6.55 KB	3.72 KB
em.std	2012/01/20 15:08...	2012/01/20 15:10...	00:01:19	171.13 KB	1.24 MB

**説明** 3ヶ月経過した通信履歴は、自動的に削除されます。

#### ● 通信集計情報を見る

通信集計情報 (01/12/2011 - 31/12/2011)

接続先設定: 全ての接続先

月別選択: 当月

データ統計

送信データ量: 16.63 KB  
受信データ量: 51.18 KB  
接続時間: 00:01:30

OK

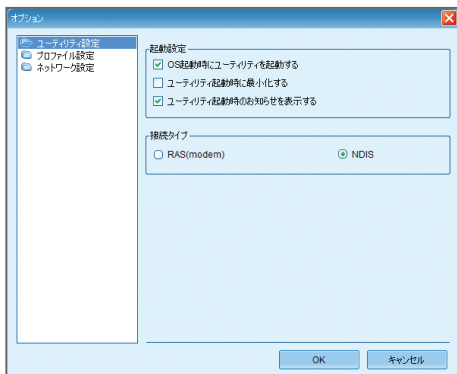
1. 「通信履歴」の画面で、「通信集計情報」をクリックします。
2. 「接続先設定」のプルダウンリストから、確認したい接続先を選択します。
3. 「月別選択」のプルダウンリストから、「先々月」、「先月」、「当月」の中から確認したい月を選択します。
4. 選択した条件でのデータ統計の情報が表示されます。

**注意** 本履歴は目安であり、実際の送受信データとは異なる可能性があります。



## ユーティリティ設定

メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメニューバー) より、「ツール」>「オプション」をクリックして、ナビゲーションツリー中の「ユーティリティ設定」をクリックします。



### ● 起動設定

ユーティリティ起動時の動作について、次の3つのモードが選択できます。

- ・ 「OS起動時にユーティリティを起動する」を選択すると、OSが起動すると同時にEMOBILE HW ユーティリティが起動します。
- ・ 「ユーティリティ起動時に最小化する」を選択すると、EMOBILE HW ユーティリティ起動時にタスクトレイ表示されます (最小化された状態で起動します)。
- ・ 「ユーティリティ起動時のお知らせを表示する」を選択すると、EMOBILE HWユーティリティ 起動時に「各接続先について」の画面が表示されます。

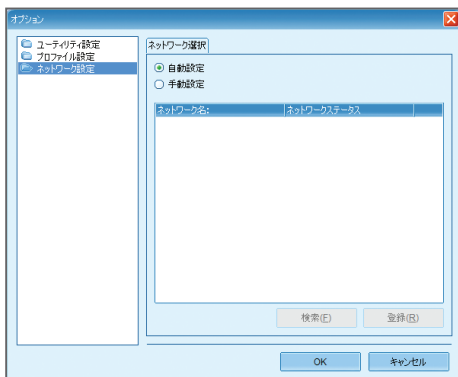
### ● 接続タイプ

本製品を接続した時に接続タイプを認識します。通常そのままの設定 (Windowsは「NDIS」、Macは「Ethernet」) でご使用ください。

## 4 ユーティリティ操作ガイド

### ネットワーク設定

メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメニューバー)より、「ツール」>「オプション」をクリックして、ナビゲーションツリー中の「ネットワーク設定」をクリックします。



1. 「自動設定」または「手動設定」を選択します。
  - ・ 「自動設定」を選択すると、本製品が自動的にネットワークの検索と登録を行います。通常ご利用になる場合は、「自動設定」を選択してください。
  - ・ 「手動設定」を選択し「検索」をクリックすると、ネットワークリストが表示されます。利用可能なネットワークを選択して「登録」をクリックします。

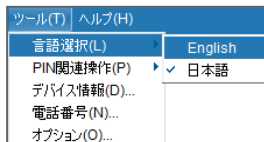
**注意** LTEネットワークをご利用になる場合は、「自動設定」に設定してください。

## 関連設定および情報確認

### 言語の選択

EMOBILE HW ユーティリティは日本語と英語の表示が  
できます。

メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメニュー  
バー) より、「ツール」>「言語選択」をクリックすること  
で、言語を指定します。

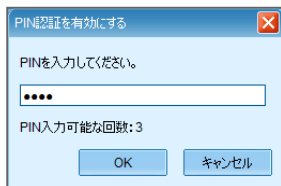


### PIN関連操作

PIN (Personal Identification Number) は、不正ユーザがEM chipを利用することを防ぐため  
に使われるコードです。PIN認証有効、PIN認証無効、PIN変更などを設定できます。  
お買い上げ時のEM chipは、「PIN認証なし」、PINは「9999」に設定されています。

#### ● PIN認証を有効にする

1. メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメ  
ニューバー) より、「ツール」>「PIN関連操作」>  
「PIN認証有効」の順に選択します。
2. 正しいPINを入力し、「OK」をクリックします。

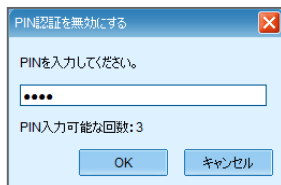


#### 注意

- ・ PIN認証が有効で認証されていない場合、本製品をパソコンに接続してデバイスが検出されるとPINの入力を求められます。認証されるまで、ユーティリティを起動してもインターネット接続はできません。
- ・ PIN入力待ちの場合、LEDステータスランプ(橙)の点滅で確認できます。

#### ● PIN認証を無効にする

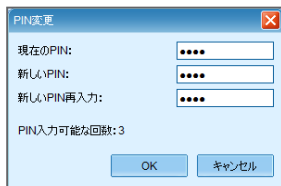
1. メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメ  
ニューバー) より、「ツール」>「PIN関連操作」>  
「PIN認証無効」の順に選択します。
2. 正しいPINを入力し、「OK」をクリックします。



## 4 ユーティリティ操作ガイド

### ● PINを変更する

1. メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメニューバー)より、「ツール」>「PIN関連操作」>「PIN変更」の順に選択します。
2. 「現在のPIN」に現在のPINを入力します。
3. 「新しいPIN」と「新しいPIN再入力」に新しいPINを入力します。
4. 「OK」をクリックします。



「PIN変更」ダイアログボックスのスクリーンショット。現在のPIN、新しいPIN、新しいPIN再入力の各フィールドには4つの黒い点が表示されています。PIN入力可能な回数は3と表示されています。OKとキャンセルのボタンがあります。

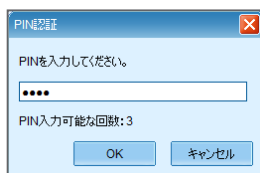
**注意**

- ・ PINは4～8桁の数字のみ許容されます。
- ・ PIN認証が有効に設定されていないと、PINは変更できません。

### ● PINを入力する

PIN認証を有効に設定すると、本製品を使用するために、正しいPINを入力する必要があります。

1. 本製品をパソコンに接続し、デバイスが検出されると、EMOBILE HW ユーティリティのPIN認証画面が表示されます。
2. 正しいPINを入力します。
3. 「OK」をクリックします。



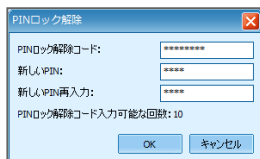
「PIN認証」ダイアログボックスのスクリーンショット。PINを入力してください。というメッセージと入力フィールドがあります。PIN入力可能な回数は3と表示されています。OKとキャンセルのボタンがあります。

**注意** PINを3回連続で間違えるとPINロック状態になります。その場合PINロック解除コード(PUKコード)が必要になります。PINロック解除コード(PUKコード)についてはお問い合わせ先にご連絡ください。またPINロック解除コード(PUKコード)を10回連続で間違えると、完全ロック状態となります。完全ロック状態となった場合は、新しいEM chipが必要となります。手続きにつきましてはお問い合わせ先にご連絡ください。また、所定の手数料が発生する場合があります。

### ● PINロックを解除する

EM chipがロックされた場合、PINロック解除の画面が表示されません。

1. 「PINロック解除コード」に正しいPINロック解除コード(PUKコード)を入力します。
2. 「新しいPIN」と「新しいPIN再入力」に新しいPINを入力します。
3. 「OK」をクリックします。

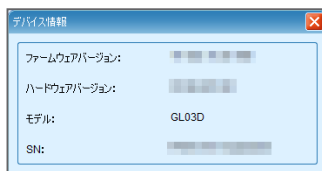


「PINロック解除」ダイアログボックスのスクリーンショット。PINロック解除コード、新しいPIN、新しいPIN再入力の各フィールドがあります。PINロック解除コード入力可能な回数は10と表示されています。OKとキャンセルのボタンがあります。

**説明** Windows 7の場合は、管理者権限でログインして、デスクトップ上にあるユーティリティショートカットアイコンを右クリックし、「管理者として実行」を選択してEMOBILE HW ユーティリティを起動したうえで上記操作を行ってください。

## デバイス情報を確認する

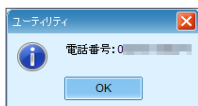
メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメニューバー) より、「ツール」 > 「デバイス情報」をクリックすると、本製品のデバイス情報を確認することができます。



**説明** デバイス情報は現在使用中の端末に関する情報です (実際の表示は異なる場合があります)。

## 電話番号を確認する

メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメニューバー) より、「ツール」 > 「電話番号」をクリックすると、EM chipに登録されている電話番号を確認することができます。



## 取扱説明書を参照する

メイン画面 (Macの場合はユーティリティのメニューバー) より、「ヘルプ」 > 「ヘルプ」をクリックすることで、取扱説明書を参照できます。

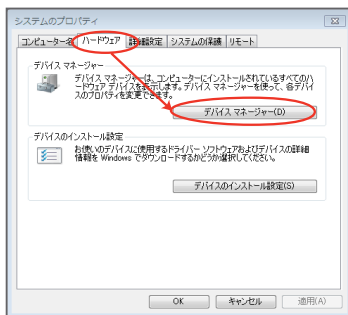
※参照にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Readerが必要です。

## 5 故障と思われる前に

症状	参照ページ
1. パソコンが本製品を認識しない。	49
2. 本製品をパソコンに接続してもインストーラーが自動的に起動しない。	50
3. インターネットへの接続が失敗した。	50
4. 通信がすぐに切れる。	50
5. 通信速度が遅く感じる。	50
6. PINコードを忘れた。PINロック解除コード(PUKコード)を知らない。EM chipが完全ロック状態である。	50
7. EM chipが認識されない。	51
8. 管理者権限(Administrator)でログインしているのか判らない。	51
9. エラーコード一覧	52

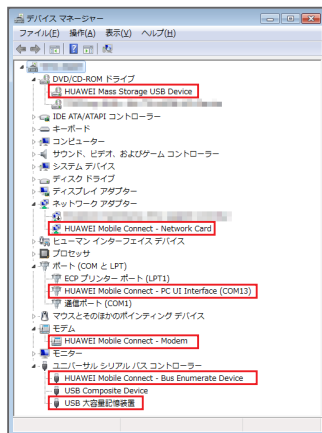
## 1. パソコンが本製品を認識しない。

1. 本製品が正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。
2. 本製品をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。  
Windowsの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。
  - ・画面はWindows 7を例としています。
  - 1. 「コンピューター」(Windows Vistaの場合は「コンピュータ」)を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「システムの詳細設定」をクリックし、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」(Windows Vistaの場合は「続行」)をクリックします。
  - 2. 「システムのプロパティ」の画面が表示されたら、「ハードウェア」のタブを選択します。



**説明** Windows XPをお使いの場合、「マイ コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「システムのプロパティ」の画面が表示されます。「ハードウェア」のタブを選択します。

3. 「デバイスマネージャー」をクリックし、「HUAWEI Mass Storage USB Device」、「HUAWEI Mobile Connect - Network Card」、「HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface (COMXX)」、「HUAWEI Mobile Connect - Modem」、「HUAWEI Mobile Connect - Bus Enumerate Device」、「USB大容量記憶装置」が表示されることを確認してください (COMポートの番号はお使いのパソコンの環境によって異なります)。



## 5 故障と思われる前に

Macの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。

1. 「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックして開き、「ターミナル」をダブルクリックして起動します。
2. ターミナルウィンドウが表示されたら、「ls /dev/tty.\*」を入力します。
3. 次の情報が表示されることを確認します。

```
/dev/tty.HUAWEIMobile-Modem  
/dev/tty.HUAWEIMobile-Pcui
```

### 2. 本製品をパソコンに接続してもインストーラーが自動的に起動しない。

システムが新しいハードウェアを認識してから、インストール準備に時間がかかりますので、45秒程度お待ちください。一定時間経過してもインストーラーが自動的に起動しない場合は、本製品を一度パソコンから取り外してから、再度接続してください。

なお自動起動しない場合は、本書の24ページ(Windows)、33ページ(Mac)を参照してください。

### 3. インターネットへの接続が失敗した。

1. サービスエリア内であることをご確認ください。
2. 電波状態が良くないところであれば、電波状態が良いところへ移動して、もう一度インターネットに接続してください。
3. 時間帯によって接続先が混雑していることもありますので、しばらくしてからもう一度インターネットに接続してください。
4. EMOBILE HWユーティリティを起動し、「プロファイル設定」が正しく設定されているかどうかを確認してください。詳細は本書の39ページを参照してください。

### 4. 通信がすぐに切れる。

1. 本製品とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。
2. 電波状態が良い場合があります。電波状態の良いところで確認してください。
3. 本製品をパソコンから取り外してもう一度接続してください。
4. 上記の操作を行ってもなお接続できない場合、本製品を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。

### 5. 通信速度が遅く感じる。

電波状態が良い場合があります。電波状態の良いところで確認してください。

回線の状態が良い場合があります。時間を置いて再度試してください。

### 6. PINコードを忘れた。PINロック解除コード(PUKコード)を知らない。EM chipが完全ロック状態である。

お問い合わせ先(55ページ)にご連絡ください。



## 7. EM chipが認識されない。

1. EM chipが正しく取り付けられているかどうかをご確認ください。詳細は本書の17ページの「EM chipの取り付けかた」をご参照ください。
2. EM chipが変形していないことを確認してください。
3. EM chipの金属端子部分にキズや腐食がないことを確認してください。
4. EM chip(特に金属端子部分)が汚れると認識できない場合もありますので、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
5. 1から4までをすべて確認・お試しいただいても改善しない場合は、お問い合わせ先(55ページ)にご連絡ください。

## 8. 管理者権限(Administrator)でログインしているのか判らない。

### ● Windows 7およびWindows Vistaの場合

1. 「スタート」>「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」画面を表示します。
2. 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックして、次の画面で「ユーザーアカウント」をクリックします。
3. 画面の右側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしていますので、本製品をセットアップすることができます。

### ● Windows XPの場合(手順はクラシック表示を例としています。)

1. 「スタート」をクリックして、「スタート」メニューを表示します。
2. 「スタート」メニューの一番上に表示されているのが現在ログインしているユーザー名です。
  - ・ 「スタート」メニューの表示が、クラシック「スタート」メニューになっている場合は表示されません。「スタート」メニューを右クリックし、プロパティを表示して「スタート」メニューをチェックしてください。
3. 「スタート」>「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」画面を表示します。
4. 「ユーザーアカウント」をクリックします。
5. 表示された画面の「ユーザー名」から、2.で調べたユーザー名〇〇〇を確認します。ユーザー名の下に「コンピュータの管理者」と表示されていれば、管理者権限でログインしていますので、本製品をセットアップすることができます。

### ● Macの場合

1. アップルメニューから「システム環境設定…」を選択します。
2. 「システム環境設定…」の画面で、「システム」の「アカウント」をクリックします。
3. 画面の左側に現在ログインしている「マイアカウント」のユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「管理者」であれば管理者権限でログインしていますので、本製品をセットアップすることができます。

## 5 故障と思われる前に

### 9. エラーコード一覧

エラーコード	対処方法
619	● 時間を変えて接続してください。
628	● 場所を変えて接続してください。 ● APN、ユーザ名、パスワードが正しく設定されているか確認してください。
633	● 接続中のときは、一度接続を切ってから、再度接続してください。 ● 本製品をパソコンから一度取り外してから、再度取り付けてください。 ● パソコンを再起動してください。 ● パソコンの電源管理ユーティリティの休止設定を確認してください。
680	● 本製品を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。
720	● 接続設定 (IPアドレスやDNSアドレス)を確認してください。 ● 再度TCP/IPプロトコルのインストールが必要です。 一般的なインストールの方法は以下の通りですが、詳細につきましてはパソコンの製造元・サポート提供元にご確認ください。 Windows XP : 「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、 netsh int ip reset c:%resetlog.txtと入力する。 Windows 7およびWindows Vista : 1) 「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、 netsh int ipv4 uninstallと入力する。 2) パソコンを再起動する。 3) 「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、 netsh int ipv4 installと入力する。
777	● 接続先の電話番号が間違っていないことを確認してください。 ● 接続先の電話番号を全角文字で入力しているときは、半角文字で入力してください。

説明 このエラーコードはWindowsで表示されるものです。OSによってエラーコードが異なることがあります。

## 6 付録

主な仕様 .....	54
保証とアフターサービス .....	55

## 6 付録

### 主な仕様

製品名	GL03D
サイズ(W×H×D)	約36mm×93mm×15.0mm
質量	約50g
インターフェイス	USB 2.0 High Speed
消費電力	通信時最大:約3.25W 待機時:約0.5W ※使用状況により消費電力は変化します。
環境条件	動作温度範囲: -10~+45°C 動作湿度範囲: 5~95%(結露しないこと)
制御コマンド	Hayes標準ATコマンドに準拠
対応周波数	LTE: 上り: 1710~1785MHz 下り: 1805~1880MHz 3G: 上り: 1749.9~1784.9MHz、1920~1980MHz 下り: 1844.9~1879.9MHz、2110~2170MHz
通信方式	W-CDMA/HSUPA/HSDPA/HSPA+/DC-HSDPA/LTE

## 保証とアフターサービス

### 【保証について】

- お買い上げいただくと、保証書がついています。
- 記載内容および「お買い上げ日・販売店」の記載事項をよくお確かめの上、大切に保管してください。
- 「お買い上げ日」や「販売店」の記載がない場合や、納品書または領収書等にて「お買い上げ日」や「販売店」が特定できる書類がない場合、改ざんのある場合には保証対象外となりますのでご注意ください。

### 【修理について】

- 修理を依頼される場合、本書をお読みにになり、もう一度ご使用方法や設定状態をご確認ください。それでも改善復旧しない場合は、お問い合わせ先までご相談ください。
- 保証期間中の修理  
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間経過後の修理  
修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償にて修理いたします。

### 【ご注意】

- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために発生した損害などについて当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録されたデータやお客さまが独自に設定、インストールされたソフトが消去される(出荷時の初期状態となる)場合がありますので、ご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理を受付できませんのでご注意ください。

### 【補修用部品】

- 本製品および関連製品の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## 【お問い合わせ先】

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から: 157(無料)

一般電話から: 0120-736-157(無料)

※他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

海外から: +81-3-6831-3333(有料)

受付時間 9:00~21:00(日本時間/年中無休)

※間違い電話が多くなっております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

※一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけません場合があります。

ホームページ <http://emobile.jp/>



発売元：イー・アクセス株式会社  
(製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.)  
発行年月：2012年3月 第1版

